

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容総論		教員氏名	吉田久仁子		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	26年	
テーマ	保育の全体的な構造を理解し保育内容の基本的な考え方を理解する。					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育の全体的な構造を理解するために具体的な保育の実践例等から学び合います。幼稚園教諭・保育士としての実務経験をもとに保育環境および保育教材について解説します。アクティブラーニングとして、子どもの発達や実態に即した保育内容を考え合います。子どもの生活を取り巻く社会的背景、保育内容の歴史の変遷を学び、保育内容の基本的な考え方を理解していきます。保育内容を豊かにするための教材を研究発表し相互に学び合います。					
授業の到達目標	1.保育所保育指針等における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の全体的な構造との関連を説明することができる。 2.子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景および保育内容の歴史の変遷等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方や多様な教材や展開例について述べるができる。 3.子どもの発達や実態に即した保育内容は、計画・実践・観察・記録・評価・改善の過程が求められることを説明できる。					
テキスト	新しい保育講座4『保育内容総論』渡邊英則・大豆生田啓友 編著 ミネルヴァ書房					
参考書	なし					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他： 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	授業内提出課題70%、授業態度と意欲30% (授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む)			
	その他	0	なし			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	保育内容とは何か、授業の展開について	
	授業外学習	〈予習〉〈復習〉テキスト第1・5章を読む	55分
第2回	テーマ 内容	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいて保育の全体構造を理解する	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキスト第2章を読む	55分
第3回	テーマ 内容	環境を通して行う保育、環境構成について	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉テキスト第8章を読む	55分
第4回	テーマ 内容	保育内容の歴史的変遷・保育の歴史をつくった人々	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第13章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む	55分
第5回	テーマ 内容	子どもの発達や生活に即した保育内容	
	授業外指示	〈予習〉〈復習〉提示された課題に取り組む	55分
第6回	テーマ 内容	養護と教育が一体的に展開する保育	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第6章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む	55分
第7回	テーマ 内容	子どもの主体性を尊重する保育	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第8章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む	55分
第8回	テーマ 内容	総合的な保育について—保育の計画と評価—	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第3・4章を読む 〈復習〉振り返り課題に取り組む	55分
第9回	テーマ 内容	個と集団の発達を踏まえ、生活や発達の連続性を考慮して行う保育	
	授業外指示	〈予習〉テキスト第9章を読む 〈復習〉提示された課題に取り組む	55分

第10回	テーマ 内容	保育者の協働①家庭・地域との連携をふまえた保育	
	授業外指示	<予習>テキスト第10章を読む <復習>提示された課題に取り組む	55分
第11回	テーマ 内容	保育者の協働②小学校への接続をふまえた保育	
	授業外指示	<予習>テキスト第11章を読む <復習>提示された課題に取り組む	55分
第12回	テーマ 内容	保育の多様な展開	
	授業外指示	<予習>テキスト第12章を読む <復習>提示された課題に取り組む	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ・課題返却	
	授業外指示	今までの授業を振り返り資料やレポートを整理する	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートは、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容総論		教員氏名	久保寺節子		
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼児必修		実務経験	公立幼稚園教諭/副園長・私立幼稚園副園長	35年	
テーマ	保育の全体的な構造を理解し、保育内容の基本的な考え方を理解する。					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育の全体的な構造を理解するためにテキストおよび具体的な保育の実践例等から学び合います。幼稚園教諭・副園長としての実務経験をもとに保育環境および保育記録のありようについて解説します。アクティブラーニングとして、子どもの発達や実態に即した幼児理解を深めるためのラーニング・ストーリーについて学び、自分で作成し、「学びの物語」を理解します。また、諸外国の保育内容を学び、子どもが主体的に学び育つ保育内容について探求します。					
授業の到達目標	保育所保育指針等における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育内容」の全体的な構造との関連を説明することができる。					
	子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育内容の歴史的変遷等を踏まえ、保育内容の基本的な考え方や多様な教材や展開例について述べることができる。					
	子どもの発達や実態に即した保育内容は計画・実践・観察・記録・評価・改善の過程が求められることを説明できる。					
テキスト	「共に育つ保育を探求する保育内容総論」建帛社 授業中に資料を配布する					
参考書	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グループクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0%	実施しない			
	授業内課題参加度出席態度等	100%	授業内提出課題70%(小テストとワークシートの作成) 授業態度と意欲30%			
	その他	0%	0			

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	イントロダクション・保育内容総論の概要 子どもを取り巻く環境について知る・保育者の社会的意義と保育の専門性などの重要性を知り、当事者として学ぶ意識を高める	
	授業外学習	<予習>「第1章子どもの生活と保育内容」を読む<復習> 学びの振り返り 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の総則を読む	55分
第2回	テーマ 内容	保育内容の歴史的変遷	
	授業外指示	<予習>「第2章保育内容の歴史的変遷」を読む<復習>子どもの遊びについて振り返る	55分
第3回	テーマ 内容	現代の保育の基本と課題	
	授業外指示	<予習>「第3章 現代の保育の基本と課題」を読む<復習>学びの振り返り	55分
第4回	テーマ 内容	乳児期の保育について	
	授業外指示	<予習>「第4章 乳児期の保育について」を読む<復習>学びの振り返り。乳児期において特に重要な点を振り返る	55分
第5回	テーマ 内容	保育計画と保育内容とのつながり	
	授業外指示	<予習>第5章 「保育計画と保育内容とのつながり」を読む<復習>学びの振り返り	55分
第6回	テーマ 内容	「対話的な深い学び」のための子ども理解と保育実践	
	授業外指示	<予習>「第6章 対話的な深い学び」のための子ども理解と保育実践」を読む<復習>事例を振り返り考察する	55分
第7回	テーマ 内容	記録のとり方と保育の評価①	
	授業外指示	<予習>「第7章 記録のとり方と保育の評価」を読む<復習>ポートフォリオを作成する	55分
第8回	テーマ 内容	記録のとり方と保育の評価②	
	授業外指示	<予習>「第7章 記録のとり方と保育の評価」を読む。ポートフォリオを完成させる<復習>自分で作成したポートフォリオを考察する	55分
第9回	テーマ 内容	インクルーシブ保育・ダイバーシティ(多様性)と保育内容	
	授業外指示	<予習>「第8章 インクルーシブ保育」を読む。<復習>事例を通じた学びの振り返り	55分

第10回	テーマ 内容	諸外国の保育に学ぶ レッジョ・エミリアの保育について	
	授業外指示	<予習>「第9章 諸外国の保育に学ぶ多様な保育と保育者」を読む<復習>学びの振り返り	55分
第11回	テーマ 内容	諸外国の保育に学ぶ フィンランドの保育・ネウボラについて	
	授業外指示	<予習>フィンランドについて知っていることをまとめる<復習>学びの振り返り	55分
第12回	テーマ 内容	SDGsと保育内容	
	授業外指示	<予習>「第10章 保育内容におけるESD」を読む<復習>SDGsの事例を完成させる	55分
第13回	テーマ 内容	今までの学びのまとめ	
	授業外指示	<予習>SDGsについて身近なところから考える<復習>まとめと自己課題を明確にする	55分

課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポート、課題は、次回以降の授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。質問等については、授業前後に教室で行う。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容総論		教員氏名	幸喜 健	
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	保育士	3年
テーマ	保育内容5領域の総合性、保育における環境や遊びの意味を理解し、保育者の役割と援助について実践的に学びを深める				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等に示されている保育の基本、領域の考え方を学ぶ。保育の歴史の変遷を学び、保育内容について理解する。また、具体的な保育実践の展開を通して、子どもの発達の特長やプロセスを学び、あわせて多様なニーズに応じた保育の課題についても理解を深める。				
授業の到達目標	1. 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示されている保育内容の全体構造がわかる。				
	2. 総合的な指導の展開について理解し、多様な保育援助のあり方の基礎を習得する。				
	3. 多様な保育ニーズを理解し、地域や家庭に対する保育者の役割に気づく。				
テキスト	江津和也・幸喜健編著「グループワークで学ぶ保育内容総論」大学図書出版、2019年				
参考書	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領				
ポートフォリオ	なし				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験		定期試験は実施しない		
	授業内課題 参加度 出席態度等	60%	授業への参加意欲・態度(30%)、授業内の発表(30%)		
	その他	40%	単元ごとのレポートもしくはそれに代わる提出課題		

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	講義概要と趣旨説明(オリエンテーション) 保育内容とは何か—指針・要領等における位置づけの理解—	
	授業外学習	(事前学習)教科書(第1章 第1節「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」と保育内容の理解)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	保育内容と子ども理解	
	授業外指示	(事前学習)実習中にあった「どうすればよかったのかな?」という子どもとの関わりのエピソードをワークシート(授業内で配布)に記入する (事後学習)子ども理解と望ましい発達の援助について要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容における遊びの意味	
	授業外指示	(事前学習)具体的な遊び場面における子どもの姿を取り上げ、そこで理解したことをワークシート(授業内で配布)に記入する (事後学習)遊びを通した総合的な指導について要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	保育の歴史の変遷と保育内容	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第1章 第2節 わが国における保育の内容の歴史の変遷)を読む (事後学習)保育内容の歴史の変遷について要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開①—領域「健康」の視点から—	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第1節 領域「健康」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開②—領域「人間関係」の視点から—	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第2節 領域「人間関係」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開③—領域「環境」の視点から—	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第3節 領域「環境」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開④—領域「言葉」の視点から—	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第4節 領域「言葉」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開⑤—領域「表現」の視点から—	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第5節 領域「表現」の視点から)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	保育の基本を踏まえた保育内容の展開⑥—総合的な視点からの展開—(幼児期の終わりまでに育って欲しい姿、幼小接続期教育を含む)	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第2章 第6節 総合的な視点からの展開)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	カリキュラム評価とカリキュラムマネジメントの考え方	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第4章 保育の計画と評価)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	保育の多様なニーズに対応する展開(ICT機器の活用を含む)	
	授業外指示	(事前学習)教科書(第3章 保育の多様なニーズに対応する展開)を読む (事後学習)授業内容の要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外指示	(事前・事後学習)これまでの学びを振り返り、授業内で作成したワークシートやノートを整理する	55分

課題に対するフィードバックの方法

発表や提出課題に対するフィードバックは、授業時に口頭などで行う。